

USB バーコードリーダー インストール手順説明書

下記のUSBコネクタ付きバーコードリーダーの接続およびプログラミングについては、本書の手順に従ってください。

▶ JADAK flexpoint HS-1^M

▶ Symbol LS2208

バーコードリーダーを接続すると、超音波画像診断装置のUSB機器リストまたはUSB機器設定ページに接続したバーコードリーダーが表示されます。

バーコードリーダーの使用上の安全性、洗浄および消毒方法については、FUJIFILM SonoSite社の「バーコードリーダー ユーザーガイド」を参照してください。

JADAK バーコードリーダーの設定

JADAKバーコードリーダーを接続しプログラムする手順

- 1 バーコードリーダーに付属のコードをバーコードリーダーに接続し、もう一方のUSBプラグを超音波画像診断装置のUSBポートに接続します。

バーコードリーダーに同梱されている「JADAK flexpoint HS-1^M Quick Start Guide」を参照してください。

USBポートの位置に関しては超音波画像診断装置のユーザーガイドを参照してください。

- 2 超音波画像診断装置の電源をオンにします。
- 3 以下のバーコードを上から順にスキャンします。

USB Kybrd
STX Prefix
ETX Suffix



DOS CTRL
ASCII MODE



- 4 バーコードが正しく設定され、超音波画像診断装置と作動することを確認するため、本体画面上に患者情報フォームを表示し、バーコード読み取り試験を行うことを推奨します。正しく設定されていれば、バーコードをスキャンすると同時に、患者情報フォームに患者ID（及び関連する患者情報がある場合はその情報）が自動入力されます。

Symbol バーコードリーダーの設定

Symbol バーコードリーダーを接続しプログラムする手順

- 1 バーコードリーダーに付属のコードをバーコードリーダーに接続し、もう一方のUSBプラグを超音波画像診断装置のUSBポートに接続します。

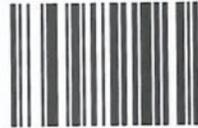
バーコードリーダーに同梱されている「*Symbol LS2208 Quick Start Guide*」を参照してください。
USBポートの位置に関しては超音波画像診断装置のユーザーガイドを参照してください。

- 2 超音波画像診断装置の電源をオンにします。
- 3 以下9種類のバーコードを上から順にスキャンします。

スキャンの方法については「*Symbol LS2208 Quick Start Guide*」を参照してください。

注： | バーコードを読み取れない場合、バーコードリーダーをより遠ざける、または角度を変えてください。

すべてのルールを消去する



新しいルールを開始する



Control Bを送信する



残りのすべてのデータを
送信する



Control Bを送信する



ビープ音を1回鳴らす



ルールを保存する



- 4 必要に応じ、他のプログラム用バーコードをスキャンします。
- 5 バーコードが正しく設定され、超音波画像診断装置と作動することを確認するため、本体画面上に患者情報フォームを表示し、バーコード読み取り試験を行うことを推奨します。正しく設定されていれば、バーコードをスキャンすると同時に、患者情報フォームに患者ID（及び関連する患者情報がある場合はその情報）が自動入力されます。

注：

Symbol バーコードリーダーにはビープ音量等、さまざまなユーザー選択項目をプログラムすることができます。「*Symbol LS2208 Quick Start Guide*」または、更に詳細な情報は「*Symbol LS 2208 Product Reference Guide*」を参照してください。これらのドキュメントは同梱されています。Motorola のウェブサイト (www.motorola.com) からダウンロードすることも可能です。

SonoSite および SonoSite ロゴは複数の法域にて商標または登録商標です。

その他の商標もそれぞれの所有者の財産です。

Copyright© 2016 FUJIFILM SonoSite, Inc. All rights reserved.

選任製造販売業者：
株式会社富士フイルムソノサイト・ジャパン
〒106-0031 東京都港区西麻布 2-26-30
TEL: 03 (6418) 7190

外国特例認証取得者：
FUJIFILM SonoSite, Inc. 米国
(フジフイルムソノサイト, インク)

01/2016



P12311-04

